

3/2 悲願の初優勝！ ～全日本テコンドー選手権優勝～

▶牧野さん(中央西区)と県テコンドー協会トレーナーの木村さん(左から)



牧野信一さん(87キロ以上級)が兵庫県で行われた全日本テコンドー選手権で優勝しました。高校生の頃から16年間テコンドーを続けている牧野さんは、仕事の傍ら、選手として練習に励みながら、指導者として後進の育成にも力を入れています。大会前は、スピードのある動きができるように、体重の軽い選手と練習するなどの工夫をしていたそうです。牧野さんは「これからも競技を続けながら、テコンドーの楽しさを伝えていきたい」と、話していました。

3/22～23 色とりどりの花々を愛でる ～宮崎兄弟の生家 滔天記念華展～

▶老若男女が生け花に挑戦したり、花を愛でたりして、楽しみました。



2日間にわたり、宮崎兄弟の生家で滔天記念華展は開催されました。荒尾市華道会の会員がさまざまな花瓶に花を生け、日頃の鍛錬の成果を披露しました。また、生け花の体験コーナーも設けられ、華道会の会員指導の下、来訪者がかすみ草やガーベラなどをユニークに生けました。生け花に挑戦した男性は「引き立てたい花の高さを高くすることで、花を生かせることを教えてもらい、全体に深みが増しました」と、話していました。

3/27 健診を受けて心も体も HAPPY に ～国民健康保険特定健診キャンペーン抽選会～

▶MJKの丸尾菜々子さん、小田彩夏さん、諸永紗田美さん(左から)



国民健康保険特定健診キャンペーンの抽選会を市役所で開催しました。荒尾市健康PR隊MJKが抽選を行い、150人の当選者が決定しました。当選者には商品券やゆるキャラのくまモン&マジッキータオルが贈られます。特定健診は40歳～74歳の人を対象に身体計測・血液検査・尿検査などを行う総合的な健診です。生活習慣病の早期発見にとっても効果的なので、自分の体の状態を知るため、毎年、特定健診を受診しましょう。

3/30 満開の桜が咲き誇る ～第6回中桜祭～

▶桜吹雪が舞う中、太鼓などのステージイベントも行われました。



よかまち中央会が中桜祭を野外音楽堂で行いました。祭りには700人ほどが訪れ、有明高校の生徒による演奏などのステージイベントや食品バザーが催されました。参加者は「風に舞うたくさんの桜の花びらがとてもきれいで幻想的でした」と、目を細めていました。また、3月23日～4月6日まで「夜桜ライトアップ」も行われ、多くの人が昼間とは違った雰囲気の中桜を楽しみました。

3/25 アジアを見据えて荒尾に進出！ ～企業立地協定(新設)調印式～

▶強い握手を交わす高口産業振興局長(県・当時)と、アトム精密、前畑市長(左から)



荒尾市が県内自治体で初めて整備した貸工場に産業機械の設計・組み立てを手掛けるアトム精密(本社：東京都八王子市)の進出が決まり、熊本県の立会いの下、市役所で立地協定を締結しました。アトム精密は港や空港に近い荒尾の立地環境を生かし、自動車産業の拡大が期待されるアジア市場向けに自動車製造ラインを製造します。同社は4月から貸工場へ入居し、5月に操業を開始する予定です。

3/26 みんなに優しい社会のために ～社会福祉功労者県知事表彰伝達式～

▶前畑市長、坂田さん、隈倉さん、木原さん(左から)



社会福祉の向上に尽力した個人や団体に贈られる県知事表彰の伝達式が市役所で行われ、隅倉理香さんと助丸区花菖蒲愛好会(代表：古嶋忠典さん)に市長から表彰状と記念品が手渡され、祝福を受けました。隅倉さんは点字サークルともしびの会員として、視覚障がいの人のために点訳図書製作や校正活動にまい進。また、同愛好会は高齢者が中心となり、遊休農地を活用して、30種類・3,000株ほどの菖蒲を栽培しています。

3/31 南国の花を荒尾で味わう ～ローゼル「くまもとの赤」に登録決定～

▶同会ではコスモス、野菜、肥後葛なども育てています。



下赤田コスモス会が作るローゼル(ハイビスカス)のジャムとハーブティーが熊本を代表する加工品として「くまもとの赤」に登録されました。同会では2年前からローゼルの栽培を始め、ことし、初の商品化に成功しました。ローゼルは酸味があり、すっきりとした味がします。同会は「ことしは去年の4倍の面積でローゼルを栽培するので、多くの人に味わってほしいです。将来的には荒尾市全土でローゼルの栽培が盛んになれば」と、意気込んでいました。

寿 100歳 おめでとうございます！



森ミサエさん(新生西)

4月1日に100歳の誕生日を迎えた森さんは、編み物が好きで、以前は、人形に手作りの服を着せ、周りの人にプレゼントしていました。また、野菜や花を育てることに力を入れていたそうです。今は、施設でゆっくりとした時間を楽しんでいます。